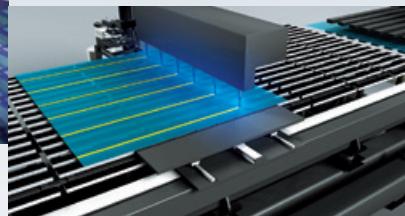




BUSINESS REPORT

第24期 中間株主通信

2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日



CONTENTS

ごあいさつ	P1
財務ハイライト	P2
これまでの歩みとこれから	P3
新事業TOPICS	P4
経営理念とESG	P5
株式の状況	P6

株式会社ブイ・テクノロジー
(証券コード:7717)



大いなる志と溢れる情熱で、
世界最高のイノベーションを創造し、
社会に貢献します。

代表取締役 兼 社長執行役員
杉本 重人

2021年3月期 中間決算のご報告

当中間期における世界経済は、新型コロナウイルスの世界的な大流行により前半は大幅な落ち込みが見られましたが、各国の財政・金融対策等の下支えにより、期半ばより緩やかな回復基調で推移しました。

米国においては、好調な株式市場や各種経済対策を背景に、住宅市場が堅調に推移すると同時に、個人消費及び設備投資の持ち直し等から、経済は4月を底に回復に転じたものの、不透明な状況が続いています。

中国においては、輸出の持ち直しが確認されたことに加え、固定資産投資が通信分野などを中心に順調に推移したこと等から景気回復が加速しました。

日本においては、各種経済対策を受け、第1四半期を底に個人消費や輸出に回復の兆しが見受けられたものの、景気は緩やかな回復に留まりました。

FPD(フラットパネルディスプレイ)装置市場では、第1四半期から中国の新工場立上げが再開され、作業は概ね順調に推移しました。新規の設備投資については、LCD(液晶ディスプレイ)関連の商談が一服する中、中小型OLED(有機EL)や次世代FPDに関連した複数の引合いが確認されました。

一方、半導体装置市場においては、中国における旺盛な設備投資意欲等を背景としたメモリー及びシリコンウエハ関連の引合いについて進展が確認されました。当中間期の連結受注金額は、19,870百万円となりました。また、受注残高は50,795百万円となりました。

連結業績は、売上高は28,220百万円、営業利益は2,941百万円、経常利益は2,877百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,477百万円となりました。

今後も株主の皆様のご期待に沿えますよう、大いなる志と溢れる情熱で、世界最高のイノベーションを創造し社会に貢献していく所存です。株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2020年12月
代表取締役 兼 社長執行役員 杉本重人

財務ハイライト(連結)

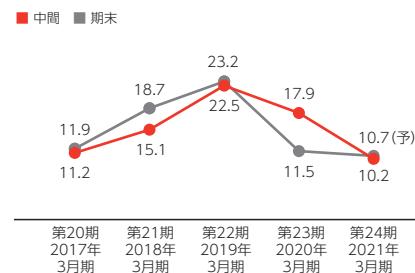
売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



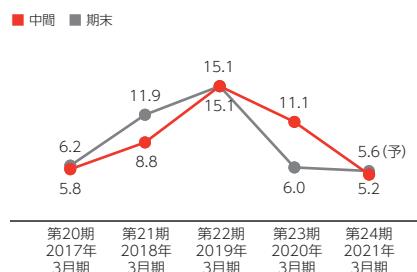
経常利益率 (%)



親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)



親会社株主に帰属する四半期純利益率 (%)



総資産 (百万円)



自己資本比率 (%)



【今期業績見通し】

フラットパネルディスプレイ (FPD) 市場は、中国を中心に設備投資が継続されると見込まれるものの、新型コロナウイルスの世界的な大流行によるFPD最終需要への影響は未だ不透明な状況が継続しております。このような状況の中、新型コロナウイルス流行の影響による2022年3月期への納期延伸等の可能性を踏まえ2021年3月期の連結業績見通しを5月12日に発表いたしました。

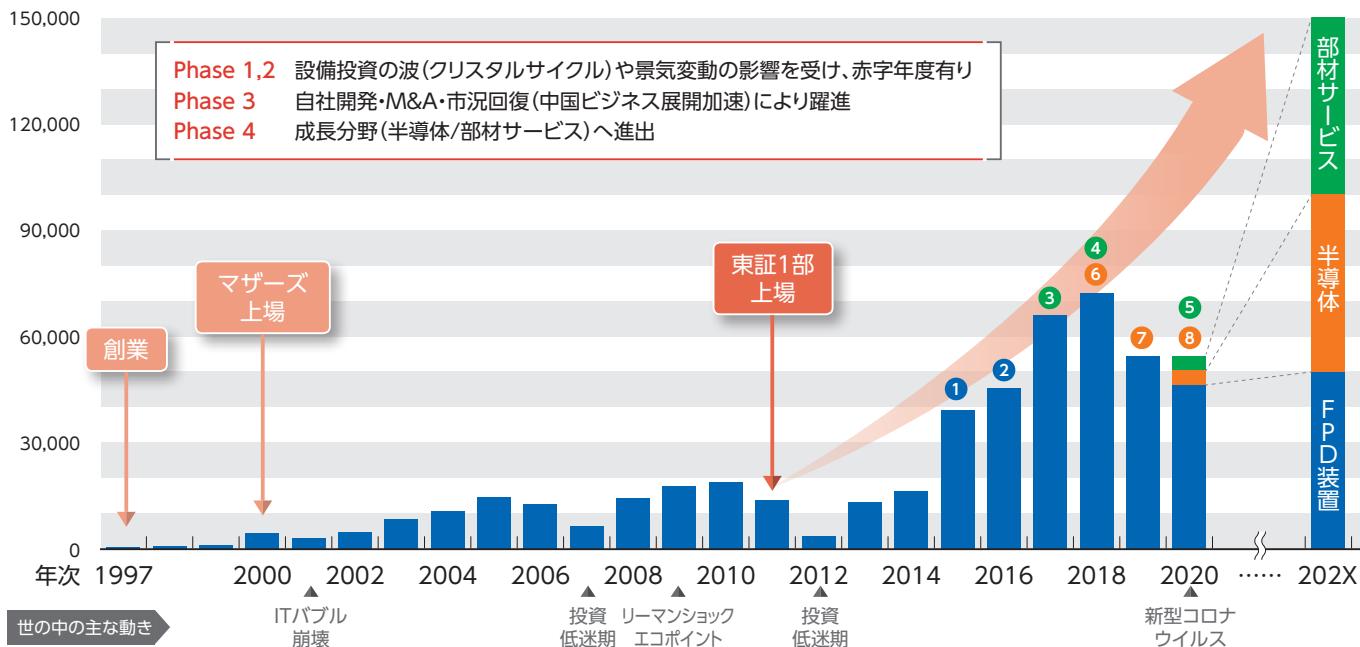
売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
54,000	6,000	5,800	3,000	310.25

(百万円)

これまでの歩みとこれから ~新事業で新たな成長ステージに~



売上 (百万円)



事業分野

FPD装置(コア事業)

創業から大型FPD製造に強みと実績があります。Phase3期に躍進、多彩な人材と技術が集結、レーザーアニール装置等の新製品開発を加速しています。

- 1 NSKテクノロジー社を子会社化し大型ガラス基板露光装置事業に参入しました(市場シェア90%以上)。
- 2 OHT社を子会社化/非接触電気検査装置事業に参入しました(市場シェア50%以上)。

半導体

ウェーハ検査トップのNSS、半導体パッケージ基板の非接触検査に強みを持つOHT、中国合併社のZ-CSETが、半導体のお客様へソリューションを提供します。

- 6 Z-CSETでICテスト/ウェーハ研磨装置事業を開始
- 7 NSSを子会社化しウェーハ検査装置およびマスクレス露光装置事業に参入 **P4 Case 1**
- 8 NSSの東京事務所が交通の便に優れた横浜へ移転しました。

部材サービス

中小型OLEDの製品歩留りと品質の改善に貢献する、独自の技術とサービスの提供を目指しています。

- 5 中小型OLED良品化サービスを提供するVSCを中国ファンドと設立、2020年4月より営業開始しました。 **P4 Case 2**
- 3 VETを設立しOLED用蒸着マスク市場に参入しました。
- 4 有機EL照明(Lumiotec)および有機材料(FLASK)事業に参入しました。

新事業TOPICS

半導体

Case 1 ナノ・システム・ソリューションが横浜事務所を開所、 旺盛な半導体装置需要の下、マーケティング及び製品技術開発を加速します。

技術の進化が続く半導体製造装置の世界で事業を発展させ続けるためには、革新的な発想に基づく新技術を、機を逃すことなく、お客様にお届けしなければなりません。この度、高度なテストに対応できる、信頼性の高いクリーン環境下での装置のデモンストレーションが可能で、首都圏の主要交通機関へアクセスを備えた、横浜市緑区ジャーマンインダストリーパークへ8月に横浜事務所を開所し、マーケティング及び製品技術開発等に新たな体制で取組みます。同社の成長に是非、ご期待ください。



工場外観写真

部材サービス

Case 2 中小型OLEDパネルのサルベージサービスを提供するVSC昆山工場が 4月から稼働開始、今年度の本格的なサービス開始を目指します。

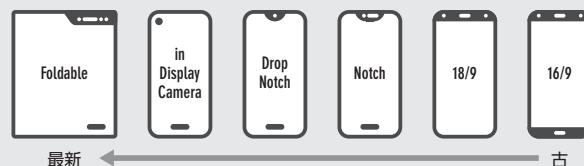
OLEDは、画質や消費電力以外に、画面形状の進化(センサー用の切り欠きや四隅への円弧形状の加工)等、高度かつ多彩な要求に応え続ける唯一のディスプレイです。

当社は、OLEDの多様な進化に伴い高まる製造難度と歩留り低下に、当社独自のDemura技術による不良品パネルの良品化「サルベージサービス」で課題解決に貢献しています。

中国市場での需要増に対応するべくVSC (V-Tech Shining Color Technology)を設立、中国を始めとする世界中のお客様の歩留り改善にお応えする体制を整備いたしました。

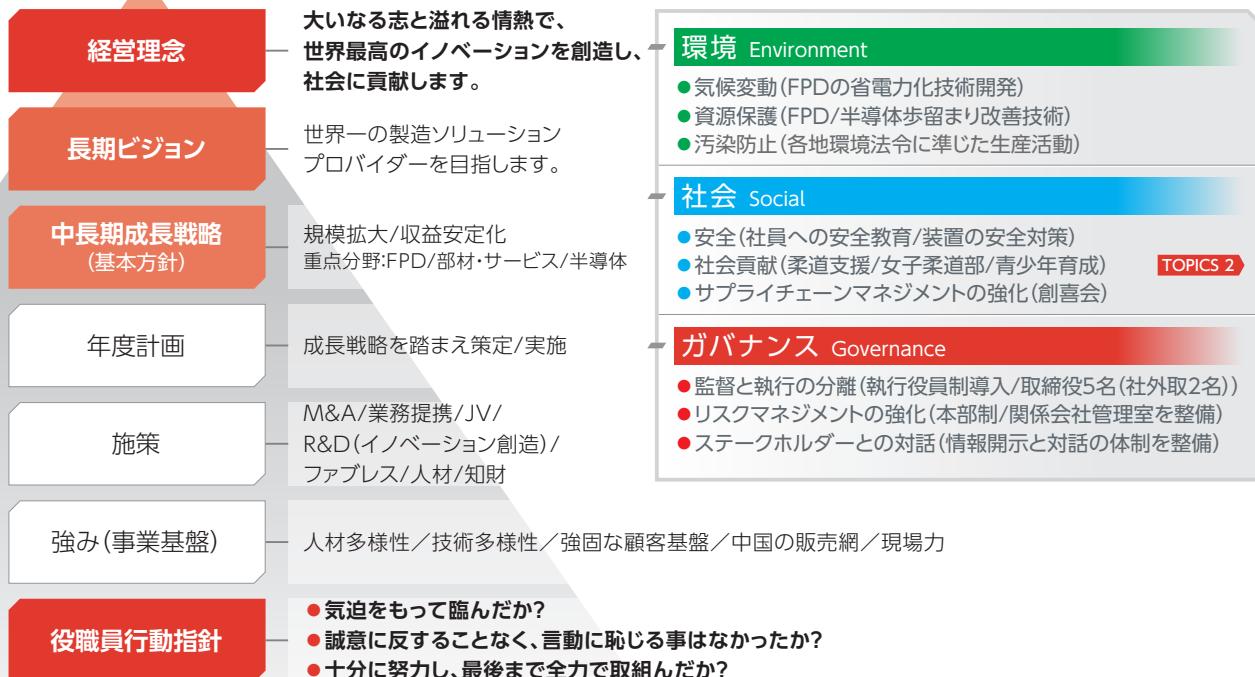


画面形状の進化



経営理念に根差したESGの取組みについて

経営理念の体系とESG重点項目をご紹介します。



TOPICS 2

新型コロナウイルスへの対応

社会貢献

新しい勤務体制を7月1日より導入

部署ごとの業務特性や実績を踏まえ、かつ在宅勤務を業務遂行の中心に据えた新しい勤務体制を7月1日から導入いたしました。これにより、全従業員の安全の確保と、ワークライフバランスの向上による全従業員の効率的な業務遂行並びにオフィスコストの削減を図ります。

横浜市へ医療用防護服を6月1日に寄贈

医療や福祉などの現場で新型コロナウイルスとの戦いに従事されている皆様の感染予防に少しでも貢献するべく、横浜市新型コロナウイルス対策本部へ医療用防護服620着を寄贈いたしました。

株式の状況 (2020年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 35,180,600株
- 発行済株式総数 10,057,600株
- 株主数 9,652名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数	持株比率
杉本重人	1,174,600株	12.0%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	594,600株	6.1%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	415,600株	4.2%
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	194,900株	2.0%
JP MORGAN CHASE BANK 385781	136,546株	1.4%
J.P.Morgan Securities	105,855株	1.1%
株式会社日本カストディ銀行(信託口6)	104,600株	1.1%
株式会社日本カストディ銀行(信託口1)	99,500株	1.0%
株式会社日本カストディ銀行(信託口2)	90,100株	0.9%
モロフジ株式会社	83,600株	0.9%

当社は自己株式256,111株を保有しておりますが、上記から除いております。また、持株比率は自己株式(256,111株)を控除して計算しており、小数点第2位を切り捨てて表示しております。

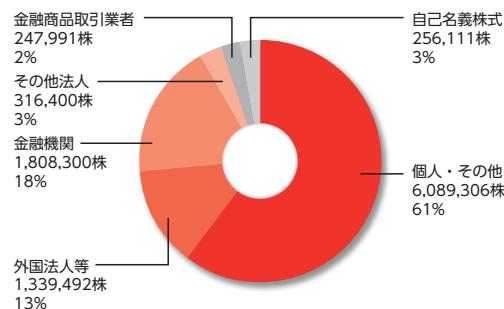
株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催
- 配当金受領株主確定日
 - ・期末配当金 3月31日
 - ・中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関
 - ・同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 - ・同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 上場証券取引所 東京証券取引所 (証券コード 7717)
- 公告の方法 電子公告とします。但しやむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。公告掲載の当社ホームページアドレス <https://www.vtec.co.jp>

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

● 株式所有者別分布



会社概要 (2020年9月30日現在)

社 名 : 株式会社バイ・テクノロジー
設 立 : 1997年10月16日
本 社 所 在 地 : 横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークウイーストタワー9F
TEL : 045-338-1980 FAX : 045-338-1781

取締役会

代 表 取 締 役	杉 本 重 人
取 締 役	天 日 和 仁
取 締 役	神 澤 幸 宏
取 締 役	城 戸 淳 二
取 締 役	西 村 豪 人

※城戸淳二および西村豪人は社外取締役です。

監査役会

常 勤 監 査 役	中 原 有 庸
監 査 役	大 倉 修 和
監 査 役	住 田 勲 勇
監 査 役	宇 田 賢 一

※大倉修和および宇田賢一は社外監査役です。

執行役員

社長執行役員	杉本 重人
専務執行役員	梶山 康一
専務執行役員	勝原 隆
常務執行役員	米澤 良
常務執行役員	天日 和仁
常務執行役員	神澤 幸宏

執 行 役 員	天野 勇
執 行 役 員	水村 通伸
執 行 役 員	松元 康博
執 行 役 員	伊藤 行男
執 行 役 員	大淵 一人
執 行 役 員	飯野 仁

執 行 役 員	田口 和明
執 行 役 員	永井 一馬
執 行 役 員	張 尚敦
執 行 役 員	後藤 順
執 行 役 員	菅井 健
執 行 役 員	羽森 寛
執 行 役 員	芳賀 一実

WEBサイトのご案内

IR関連のニュースリリースや各種IR資料がご覧いただけるほか、新事業やESG等の取組みについて多数掲載しています。ぜひご覧ください。

TOPページはこちら



IR情報ははこちら

